

明けましてお芽出度う御座います。本年も宜しくお願い申し上げます。

さて書棚の中から明治四三年文芸書出版で知られる東雲堂書店発行の「名家演芸ひかへ帳」という小型の書物を見出だした。芸談といふより明治期に活躍した名芸能家に言いたいことを言わせた本である。取上げた芸能家は二四人、中でも当時大流行の義太夫界が一番多く撰津大掾をはじめ六名もある。女義は呂昇、竹本長広の二人。もっとも各流いすれも現在から見れば少なくとも三代は前の人達である。それらの中で呂昇のが面白かったので取上げて見た。題名は「女義太夫發展策」と

義太夫協会会長 田辺秀雄

豊竹呂昇大いに語る

義太夫

義太夫協会会報
第60号

平成7年1月1日
社団法人 義太夫協会発行
〒104 東京都中央区銀座
6-18-2 新橋演舞場B2
TEL (3541)5471

と言った處で、男の太夫と肩を並べて彼人が三段目の切を語るのだから、妾は四段目の切を語らねばならぬ、イヤ何か十八番のものを附ものとして語らせて貰いたいなどと言うようなそんな望みは最初から持つては居りませぬ、せめて劇場の方で女形は女の方が能く通ると言った様なわけで、たとえば忠臣蔵の茶屋場の掛合などのとき、おかるを語るとか阿古屋を語るとか、こう言う塩梅に女を使つて貰つたなら後には女で一段を受持つ事が出来るようになるであろうと思ひます。」

ここまで現代語に直した原文であるが、長くなるので以下は抄訳することにする。

「私は技芸さへ練磨して男に負けぬ程勉強しましたら、ナアニ女は女だけの長所があるであろうと自信して居ります、一生涯の間に文楽座のような晴れの舞台で男女合同の興行に出勤がして見たいと思って居ります、それも女太夫全体が今日のような考え方では一人でなくとも有志が集まつてしかるべき人に院本の講議をして欲しい。学校とは行かなくとも何とか実行したい。」中略「私が大阪へ来たのは明治二五年で當時女義は盛んではあったが何分下品でお客も下層の方ばかりで世間から大変横斥されていた。その前は中々立派だったそうで私は勉強の為に来たのにその意外に驚いた。それが今では客筋もよくなり、一部を除いては手拍子だとかいう下等な騒ぎをやる客は殆どなくなつた。私の来た時は女太夫は余り激しい修行はしなかつたが、今では修行に励み男太夫の宅二、三軒へは必ず稽

賀年会

あけましておめでとうございます。
様々な年賀状が寄せられました。反省
あり、希望や抱負・そして近況報告と
しばしお楽しみ下さい。

へ女流義太夫

なんと足の速い一年でありました事でしょう。

でもいろいろな事多き年でもありました。
さて、衿をただし謹んで新年を迎えます。
皆様相變りませず、どうぞよろしくお願ひ申
し上げます。

竹本 朝重

あけましておめでとうございます。
今年も全員で協力し合いよりよい方向へ猪の
如く突進してゆければと思います。
どうかよろしくお願ひ申し上げます。

竹本 綾一

「しあわせになります
しあわせになつて下さい」

竹本 華昇

明けましておめでとうございます。
今年は、思いもかけず芸團協・芸能功労者
表彰をいただいちゃつて。
この上はますます精出して、協会のお役に立
ちたいと思います。

竹本 駒龍

い
い
つ
も
の
ん
び
り
し
ご
と
は
し
っ
かり

竹本 越京

あけましておめでとうございます。

義太夫道に不惜身命を貫く所存です。
(質問) ん?.....

竹本 越孝

新年おめでとうございます。
体に気を付けて、大切に舞台を勤めたいと存
じます。まだ、当分は頑張れそうです。

竹本 越道

ローリング・ストーンズを、ジジイとか伝統
芸とか言う輩がいるが、ミック・ジャガーは、
51才の不良のとつあん、好きだなあ。
タフでハードだったらロックにや負けない義
太夫節だ。

竹本 越若

今までは、今まではよし、今年は!
気合を入れて、全開(全壊?)バリバリ行き
たいね。

竹本 越若

（前頁より）
今年の抱負

古に回るので客種も良くなつた」まだあるが
今では初めの言葉を除いて希望が殆ど実現し
たようである。明治の時代にこれだけ言った
勇氣は大いに買われて面白い。

呂昇一・呂昇一といえば、水谷良重扮する
呂昇が新橋演舞場・一月公演でお目見えです。
これは、花登篠原作「春風物語」を新派が演
じるもの。副題に「恋の呂昇」。娘義太夫・
豊竹呂昇の恋愛をほのぼのとユーモラスに描
いた作品とか。第二次呂昇ブーム、強いては
義太夫旋風が巻き起これば:とは、捕らぬた
ぬきの何とやら。



(写真提供 松竹)

【祝報】

竹本華昇さんが昨年の十二月二日に結婚さ
れました。お相手は新劇の俳優さんです。一
口年賀状に込められた深い思いが伝わります。

今年も良…萬々と…！
本年もどうぞよろしくお願ひます。



新年おめでとうございます。
私は近々住み馴れた家を引越するので頭の中までゴチャ／＼しております。

家移りの暁には、又芸道精進の覚悟。

一層のお引き立てを願い上げます。

竹本 素八

明けましておめでとうございます。
昨年引越しました。いいところです。遊びに来て下さい。

鶴澤 津賀榮

竹本 弥栄

謹賀新年

昨年は、重輝師という大きな柱を失いましたが、師匠の意志を受け継ぎ、私共心を一つに道を修めてゆかねばなりません。皆々様のご多幸をお祈り致しますとともに、一層のご支援をお願い申し上げます。

竹本 駒之助

明けましておめでとうございます。
つらい思いや悲しい事があると、それと同じ数だけ、楽しいこと・嬉しいこともある。

謹賀新年。

初舞台よりはや一年、目下最若輩で皆様方に人一倍御世話になりました。今年こそ御迷惑をかけぬよう頑張ります。ここで一句。

今年こそ 今年こそはを 繰りかえし

鶴澤 三寿々

新年明けましておめでとうございます。

一年のサイクルがずいぶん早く感じられます
が毎日が是、勉強のつもりでがんばりたい
と思って居ります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

竹本 土佐子

ご無沙汰致しております。また国立でお目に掛かることを楽しみにしております。

鶴澤 駒登久

明けましておめでとうございます。
昨年引越しました。いいところです。遊びに来て下さい。

鶴澤 津賀榮

竹本 弥栄

昨年重輝師を失い、今年は淋しいお正月です。だんだん私達の世代の責任も重くなっています。

どうぞ応援のほどよろしくお願ひ致します。

鶴澤 津賀寿

ご無沙汰しています。ただ今旅の途中です。
もし、田中悠美子という名をどこかで見かけたら、悠美も元気にやってるんだなとあるい顔でも思い出して頂ければ幸いです。

鶴澤 悠美

三味線なくして新しい年はございません。体の続くかぎり弾かせて頂きたいと思います。
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

豊澤 源平

おめでとうございます。今年は駒登久師が米寿を迎えることもあります。めでたあい一年にしたいと存じます。師匠の恩に報いるためにも精進あるのみです。

ここ数年気候の温暖化に比べ、女流義太夫はきびしい状況化にあります。きびしければきびしいほど、すぐれたものが育つはず。ガンバレ。

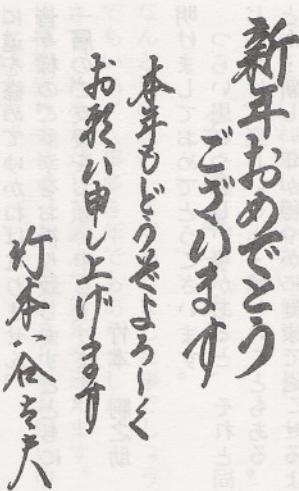
豊澤 幸治

昨年十一月、文化庁の要請でチエコをはじめとする東欧五ヶ国を三週間に亘り演奏してまいりました。外は零下4度、場内はアンコール／＼で汗ばむ程、この熱狂よ日本に！

鶴澤 友路

（竹本・歌舞伎義太夫ほか男性会員）

竹本・歌舞伎義太夫の面々は、まさに東奔西走といった忙しさ。「ご挨拶は劇場からの元気な舞台」



今年の夏は、涼しい夏でありますように

竹本 道太夫

「かけ来る猪は一文字、木の根岩角、踏み立て蹴立て、五段目ではないが、亥年だからといつて、猪突猛進にならぬよう、ゆっくりと地歩を固めて行動しようと思つております。」

竹本 弥乃太夫

世界人類が平和でありますように。

鶴澤 寿治郎

只今・見台製作中

三味線のコマ同様に、見台を製作する職人は今は皆無といってよいだろう。そんな中、すぐれた美術工芸品（見台は一見シンプルだが収納や携帯なども考慮された精巧な形と、見た目の美しさも追及した美術工芸の調度）であるとの観点から、新たに製作に取り組んだ人々がいる。木曽に本社を持つ「巴うるし工芸」である。昨年十二月上旬・一週間に亘り八重洲の「三興画廊」で、第一回「うるしの用と美」作品展に並び「邦楽の小道具」を開催し、会場には、常磐津・清元・長唄等の見台が展示された。製作に当たっては、設計図がないため各流派より見本を借りての、まさに見よう見まねだったとか。義太夫に関しては、残念ながら時間の関係で、今回は故竹本小政（大正時代）が実際用いたものに留まった。が、只今製作中であり次回には初お目見えが叶うとも。

華やかな舞台の影にある邦楽、その邦楽をまた陰でささえる小道具に、たとえ視点は違つても、関心を持ち育て伝えて行こうとする姿勢は、応援すべきであり、同時に本協会においても学ぶべきこと大であろう。

ちなみに「ご注文を頂ければ、日数は掛かりますが、必ずご満足頂けるものをお作り致します。」との弁。

見台には男女の違いがあるそうですが：

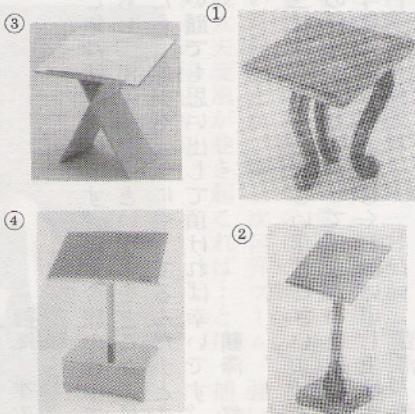
見台は淨瑠璃各流派それぞれに異なるとのことです。が、さて、次に並べた見台はどの流派のものでしょう。

答えはハガキかFAXで協会クイズ係まで正解者の中から抽選で三名様に、豪華粗品を進呈。ふるってご応募下さい。

ク イ ズ



（写真提供 巴うるし工芸株）



「'94三大伝統演劇欧州公演」に参加して

竹本綾太夫

コールは毎度のこと、大成功といえます。

文楽（嶋大夫さん・清友さん）と竹本（私と時若さん）の床は、上下二段という珍型で、

いさゝか旧聞に属しますが、昨年七月に、

国際交流基金主催に依る「三大伝統演劇欧州公演」に歌舞伎の竹本として、約三週間四ヶ国各一公演計八公演に参加し、非常に珍らしい体験を重ねましたので、茲に御報告を記させていただきます。私も何回か歌舞伎海外公演に加わりましたが、特に欧州は日数にすると四ヶ月位になりますが、何れも歌舞伎の中の義太夫狂言の演奏者としてありました。

珍らしい体験というものは、能・文楽・歌舞伎の三つの伝統演劇が、初めて一堂に会して海外に出た上に、共通の演目「俊寛」が共演されたということです。共演というと、一つは並列的に順番に上演する。もう一つは、浜辺の俊寛の出から幕切れ迄の間に、こゝは能で、こゝは文楽、こゝは歌舞伎で、最も特色の出るところを分担して演ずる。という通りが考えられます、今回はその中間型で第一部は能、第二部が文楽・歌舞伎ということになりました。その次第は、幕外の解説の後、約四十五分の能（俊寛は初日のみ観世栄夫さんで、以後は梅若恭行さん）が演じられる。休憩の後、幕外の解説があり暗転となる。笛の一聲、太鼓浪音と共に舞台前面のみ明るくなり、上手二段床の下の御簾が上り、豊竹嶋大夫さんの「元よりもこの島は……」の語りが莊重に響くと、上手より吉田文雀さん

の俊寛が登場し「命待つ間ぞ哀れなる」迄を演じる。そこで暗転になり、前面の文楽手摺を倒し、下の床が閉まり、上の床の御簾が上り竹本となる。舞台全体に照明が入ると、中村又五郎さんの俊寛が奥の庵に座しているところへ、少将（家橋さん）・判官（十蔵さん）が訪れ進行する。千鳥の呼び出しから文楽になり、盆ごとの件りが終ると歌舞伎になり、舟が着き丹左衛門（松助さん）・瀬尾（又藏さん）が登場し赦面状の件りとなる。千鳥のクドキは文楽（千鳥は一暢さん）で、「ヤレ待て千鳥」から歌舞伎となり、瀬尾との立廻りと舟の出発へ見へつ隠れつ汐ぐもり」迄が歌舞伎で、俊寛が盆が廻って正面向きになつた大岩の陰に隠れると、上手より文楽の岩が現われ、人形の俊寛の演技となり「己が友千鳥」の段切れの頃は、歌舞伎の俊寛も岩上に現われ、能の俊寛も下手奥より登場し、三様のポーズで決つて幕、という次第でした。

とにかく日本演劇史上例のない試みであり、或る国の新聞批評に「二時間半の間に、日本三大演劇のエッセンスを味わい得る革命的初演」とありましたが、それで全てを表わしていた様です。東欧でも親日的なボーランド（文楽・歌舞伎は初めて）・チエコ（歌舞伎は初めて）、芸術の都ウイーン、理解者の多いロンドンとどれも超満員で、熱狂的なカーテン

と時若さん）の床は、上下二段という珍型で、特にプラハでは床の余地がなく、二階貴賓席の前板を取ったテラスで語る（上手文楽・下手竹本）という前代未聞のこともありました。又、調子が違うので、相談により文楽は五本、竹本は七本ときちり定め、異和感がないよう致しました。

初日はウイーン。アンデアウイーン劇場はベートーヴェンの「フィデリオ」が初演された所。時は日壇修好百二十五周年記念芸術週間で、その超目玉がありました。ボーランドのワルシャワは国立オペラ座。二千人席に立見が三百人位入り、カーテンコールは十二回という新記録でした。チエコの都プラハは、中世の面影濃き所で、憧れのプラハ城からカレル橋を渡り大いに満足。こゝのエステート劇場は、モーツアルトの「ドンジョバンニ」が初演された所で、バロック様式の素晴らしい劇場でした。最終地はロンドンのサドラーーズ・ウェールズ劇場（歌舞伎は過去四回上演）で、演劇愛好家の前評判高く早く完売、ダブ屋が出現したとか。三階立見席は超満員、最終カーテンコールでは、観客と共に三本締めで千秋樂を祝いました。

国内では御一緒する機会のない能・文楽の方々と一緒に舞台を踏み、親しくさせていたい、学ぶことの多かったこの公演に参加出来たのは、本当に幸せでした。次の機会があれば、又加わりたいと思って居ります。

鶴澤重輝師逝去

重輝姉様へ

義太夫協会副会長

竹本朝重

平成六年秋
【鶴澤重輝年譜】
本名 石田千代



平成六年九月五日、鶴澤重輝姉様は逝去されました。この十一月一日私の廿九回目のリサイタルに恐らくは最後の舞台をとのお気持からの約束であられた事と思いますが、その日を待たず旅立ってしまいました。

恩師重師の同門で親愛なる姉弟子であられた重輝姉様への想いは誠に書きぬものがございます。

鶴澤重輝師の訃報が届きましたのは、九月五日。今日から義太夫教室中級コースの開講、まさに始まらんとするその時でした。竹本綾太夫事務局長からの報告で教室は一瞬騒然。五月公演での元気な姿が偲ばれます。協会の要請により昭和59年から頻繁に東京の舞台に出演され、その温和な顔立ち・華奢な姿からは、とても思いも寄らない力強いバチ捌きで、多くのファンを魅了しました。

謹んでご冥福をお祈り致します。

鶴澤重輝師の訃報が届きましたのは、九月五日。今日から義太夫教室中級コースの開講、まさに始まらんとするその時でした。竹本綾太夫事務局長からの報告で教室は一瞬騒然。五月公演での元気な姿が偲ばれます。協会の要請により昭和59年から頻繁に東京の舞台に出演され、その温和な顔立ち・華奢な姿からは、とても思いも寄らない力強いバチ捌きで、多くのファンを魅了しました。

明治45年6月1日	京都に生れる
昭和4年	鶴澤重造に入門、鶴澤重輝となる。
21年	鶴澤重造のもとで、義太夫再会
22年	鶴澤重造が上京したため、竹澤弥七に預けられる。
5年	結婚等のため休業
24年	豊竹團司に師事
46年	46年度人形淨瑠璃因協会獎励賞
55年	重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者
57年	大阪文化祭賞
61年	社団法人義太夫協会理事
62年	勲五等瑞宝章
平成2年	重要無形文化財総合指定「義太夫節保存会」副会長
4年	重要無形文化財総合指定「義太夫節保存会」技芸員代表
5年	文化庁長官表彰

平成6年9月5日 急性呼吸不全のため死去

家にも長逗留もされました。病いを押して京都の病院から仮外出で上京、リサイタルの舞台を勤めて下さった事もありました。みんなへ大切な思い出に致します。

重輝姉様、本当に有難うございました。
心から御冥福をお祈り申し上げます。

合掌

重輝師匠の思い出

竹本
駒之助

重輝師匠に、最初に弾いて頂きましたのは、私が未だ十五ぐらいの頃でございます。四ツ橋の文楽座に初めて出させて頂きました折に、「裏門」を弾いて下さいましたのが、重輝師匠でございました。重輝師匠も弥七師匠の許にいらしてから、未だ間もない頃ではなかつたかと思います。

その後私も東京へ参り、暫くの間はご縁がございませんでしたが、この十年程前より重輝師匠が東京へいらっしゃる様になられましてから、再び弾いて頂く様になりました。本牧亭、そして国立演芸場に移りましてからも数多くの舞台を一緒に勤めさせて頂きました又、越路師匠の所へ私がお稽古に伺います折も、一緒に行って弾いて下さいました。師匠



(写真提供 竹本佳之助)

文化庁長官賞を受けられたそのお祝いの会も（奇しくも、それが最後の舞台となつたのですが）、たいへん御立派に勤めて下さいました。最後の最後まで、何事もきちと勤められ、私と致しましても、こうありたいと頭が下がる思いでございます。又、病床にあっても義太夫を続けていて本当によかったです、義太夫を通じていろいろな人とめぐり逢うことが出来、素晴らしい人生を送ることが出来ましたと、うれしそうに話されていました。

にお稽古して頂く事をとても喜んでおいででございました。

四年前の手術後も、普通でしたらとてもお三昧線を弾く体力ではなかったかと思いますが、程なく舞台に復帰され、その強靭な精神力に、私共はただ／＼感服するのみでございました。この一、二年は、微熱が続いたりの体調が思わしくなった中で、一つ／＼の舞台を、これが最後かも知れないとご自分に言ひ聞かせて勤めていらっしゃいました。

そして、亡くなる寸前まで後に続く若い人達の事も案じて下さり、本当に勿体ないと思つて居ります。もっと／＼長生きをして頂きたかったと思います。

重輝師匠は、本当にスケールの大きい三味線引きでいらっしゃいました。あの、大海原に漕ぎ出す様なゆつたりとした、お師匠さん独特の三味線の音色が、いつまでも耳に残つて居ります。もう二度と弾いて頂く事が出来ないと思いますと、本当に胸がいっぱいでござります。

心より御冥福をお祈り申し上げます。

昭和五十九年 社團法人義太夫協会
正月公演

昨年五月、重輝師の文化庁長官表彰受彰記
念公演が奇しくも最後の舞台となりました。
ご挨拶に立たれた吉川英史名誉会長は、重輝
さんの三味線は、自分の芸を聞かせるというう
のではなく、語る人の芸をいかす女房役的な
芸であると紹介し、文楽を引退した義太夫界
の大御所・越路大夫さんの義太夫を重輝さん
が弾き、その共演されたものを一度だけでも
いいから放送したり、レコード化したりすれ
ば大変おもしろいとも語られました。しかし、
この夢の共演は永久に夢になってしまいまし
た。本当に残念でなりません。

(1995.1.1)

協会の動き

'94年8月より
年1月まで

7月29日

「平成6年」
義太夫教室第47期初級入門コース
閉講。48名卒業 16名皆勤。

於演舞場スペースアルファ
以上前号追記

8月8日

常務理事会

於文明堂
女流義太夫演奏会（芸術文化振興
基金助成）芸団協助成第20回若手
勉強会

8月22日

於国立演芸場

8月29日

平成6年度芸術文化振興基金助成
金交付申請書提出

9月5日

義太夫教室第47期語りコース・三
味線コース中級開講

9月23日

於演舞場スペースアルファ
教師のための義太夫講習会「芸大
邦樂科誕生物語」企画・構成・講

9月28日

演・吉川英史
於国立演芸場
祖先祭 初代竹本義太夫はじめ義
太夫関係諸先輩の墓参ならびに法
要

9月24日

於回向院

10月12日

れれた豊澤源平師が豊澤源枝さんと共に初加。
れ憎の雨模様。前日の公演に出演さ
れ当日は生憎の雨模様。前日の公演に出演さ
れれた豊澤源平師が豊澤源枝さんと共に初加。

10月13日

女流後継者育成事業 面売り

10月14日

東京都教育厅に提出
平成6年度公益法人概況調査票

10月15日

女流後継者育成事業 面売り研修
(野澤喜左衛門師指導)

10月16日

於國立演芸場
平成6年度芸術文化振興基金助成
金交付決定通知

10月17日

女流後継者育成事業 面売り



(濡衣の回向)

10月22日

故人への墓参そして法要という厳粛な中にも、
和氣あいあいとした歓談の一時を過ごしました。

10月25日

女流義太夫演奏会「本朝廿四考」
特集
於国立演芸場
平成6年度民間芸術等振興費補助
金（青少年等芸術普及）交付申請
書提出

10月27日

平成7年度芸術文化振興基金助成
活動募集に関する説明会
於東京大学工学部
義太夫節保存会 平成6年度東京
都文化財保存事業費補助対象事業
の内定
文化財保存事業費国庫補助金支払
請求書提出

10月28日

生涯学習・社会教育関係法人調査
東京都教育厅に提出
11月5日

於布善俱楽部

11月11日

常務理事会

於布善俱楽部
義太夫節保存会 平成5年度文化
財保存事業東京都補助金交付申請
書提出

11月15日

11月31日

於布善俱楽部

11月22日

女流義太夫演奏会「若手勉強会」
於ブディストホール

11月22日

國立劇場改装工事により、会場をブディス

トホールに移しての演奏会。馳染みが薄いた

研修（野澤喜左衛門師指導）
於布善俱楽部

トホールに移しての演奏会。馳染みが薄いた

(1995.1.1)

義太夫協会会報 第60号

12月20日 女流後継者育成事業 面売り研修
(野澤喜左衛門師指導) 於布善俱楽部

12月28日 平成6年度民間芸術等振興費補助金(青少年等芸術普及)交付決定
通知

11月30日 平成6年度民間芸術等振興費補助金(青少年等芸術普及)概算払い
請求書提出

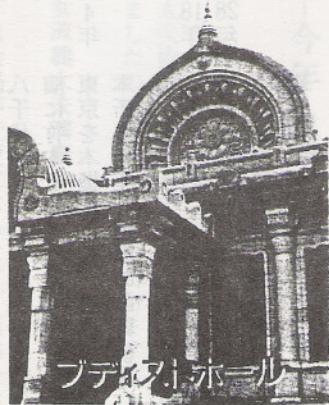
12月8日 邦楽連合会 於文化堂9階

12月12日 義太夫節保存会 平成7年度文化財関係国庫補助事業計画書提出
普及部会 於文明堂

12月19日 女流後継者育成事業 面売り研修
(野澤喜左衛門師指導)

が、立見が出るほどの大入り。途中(忠臣蔵)が客席中央から登場という演出に、歓声があるひとまくも。

尚、大道具・照明等「舞台創造研究所」にお力添えを頂きました。



（野澤喜左衛門師指導）
12月22日 公演部会 於国立劇場
女流義太夫演奏会第23回心身障害児のための特別公演(チャリティ・N H K厚生文化事業団共催)

（チャリティに御協力有難うございました。
結果は次号にて御報告させて頂きます。）
7年1月1日 義太夫協会会報第60号発行

'95都民芸術フェスティバル
第25回邦楽演奏会
*平成7年3月11日(土)
菅原伝授手習鑑

*朝日生命ホール(新宿駅西口)
*東京都助成特別料金二五〇〇円

邦楽連合会(義太夫・清元・古曲・内・常磐津・長唄・三曲)主催の年一回の演奏会。今年は第25回という節目を迎え、特に充実した内容です。お楽しみは外国人有志による長唄etc、さて、義太夫は：

■ 計報

鶴澤重輝師(本名一石田千代)正会員

平成6年9月5日逝去

重要無形文化財総合指定保持者・義太夫節保存会技芸員代表・義太夫協会理事 黙五等瑞宝章 (6~7頁参照)

享年82才。

■ 寺中作雄氏 元義太夫協会相談役

へ昼の部 開演・正午~

菅原伝授手習鑑

寺子屋の段(前)

松 王竹本朝重・源 藏竹本駒之助

戸 浪竹本綾一・玄 蕃竹本土佐恵

百 姓竹本越若・子 供竹本越 孝

三味線・豊澤源平

ヘ夜の部 開演・四時~

菅原伝授手習鑑

寺子屋の段(奥)

淨瑠璃竹本越道

三味線・豊澤源平

御冥福を心よりお祈り申し上げます。

*お申し込みは義太夫協会へ

おめでとうございます

平成六年度文化庁長官表彰

野澤松三郎師に

野澤松三郎師（竹本・三味線・伝統歌舞伎保存会会員）に、平成六年度文化庁長官表彰が授与されました。義太夫関係では、昨年の故鶴澤重輝師に続くものであり、永年にわたり歌舞伎竹本三味線演奏家として多くの舞台に出演し、重要無形文化財の保存伝承に貢献したことに対する顕彰です。

【野澤松三郎略歴】

大正13年
野沢松弥に入門
15年 島の八千代座で初舞台
昭和2年 十一代目片岡仁左衛門から野沢松

4年 野沢吉十郎の門下となり、大阪松
島の八千代座で初舞台
昭和2年 十一代目片岡仁左衛門から野沢松
3郎の名をもらう。
八千代座を中心に関西の歌舞伎公
演に竹本として出演
4年 東京を本拠地とし、浅草の宮戸座
本所の寿座、横浜の歌舞伎座など
に出演
18年 応召のため、一時舞台を離れる。
28年 松竹の傘下となり、尾上菊五郎一
座に籍を置き竹本鏡太夫の相三昧
線となる。

36年 三代目竹本米太夫とともに東宝に
移籍
46年 松竹に復帰
50年 国立劇場養成課の研修の講師とな
る。
51年 社団法人伝統歌舞伎保存会会員と
して、重要無形文化財保持者へ総
合指定～歌舞伎の第四次認定を受
ける。

53年 国立劇場特別賞受賞
54年 中国歌舞伎公演に参加
平成1年 松竹株式会社と専属契約を結ぶ。
4年 日本俳優協会功労者表彰受賞

鶴澤寛也に決定

3月22日 演芸場で祝う

〔女義太夫復活〕

特別賞	竹本文字久大夫 鶴澤清二郎
※故 鶴澤寛八	吉田蓑二郎
	竹本 友香 豊澤 雛代
	西・関東が双壁といわれていますが、ここに

平成6年度芸團協助成新人奨励賞は、鶴澤寛也（故鶴澤寛八門下）に授与されることに決まりました。一昨年、師の鶴澤寛八を失ったことは、大変なショックでしたが、師の芸をそして志をしっかりと受け継ぎ、寛八師の追善公演ではしつかりタテ三昧線をつとめました。これからが楽しみな寛也。この賞が一層の励みになることでしょう。

写真等をご紹介する予定です。乞うご期待！

【鶴澤寛也略歴】

昭和56年 義太夫教室第34期終了

59年 鶴澤寛八入門

60年 国立文楽劇場小ホールにて初舞台

—今年も盛りだくさん

協会の事業 |

義太夫協会の諸事業のおおよその予定が決まりましたので、お知らせいたします。

「女流義太夫演奏会」は、別表のとおり。

昨年は会場が変更になるなどご迷惑をおかけ致しましたが、今年はいずれも国立演芸場にて開催。

「義太夫の一日体験教室(語り)」

* 4月9日(日) 1~3時

* 講師—竹本朝重(予定)

* 参加費—1,500円 * 定員—40名

* 演舞場スペースアルファ

「三味線の一日体験教室」

* 4月16日(日) 1~3時

* 講師—鶴澤津賀寿(予定)

* 参加費—3,000円 * 定員—30名

「義太夫教室」第48期

「義太夫教室OB演奏会」

* 2月25日(土) 11時~17時30分

* 現在受講中の47期生の卒業発表と諸先輩たちの演奏 20数高座 * 東京証券会館ホール
* 入場無料

会員及び関係者が出演の公演・リサイタル等の催し物のお知らせは、そのつどご案内致します。おみのがしなきようお願い申し上げます。又、お知りになりたい情報は協会事務局までおたずね下さい。

女流義太夫演奏会

<国立演芸場>

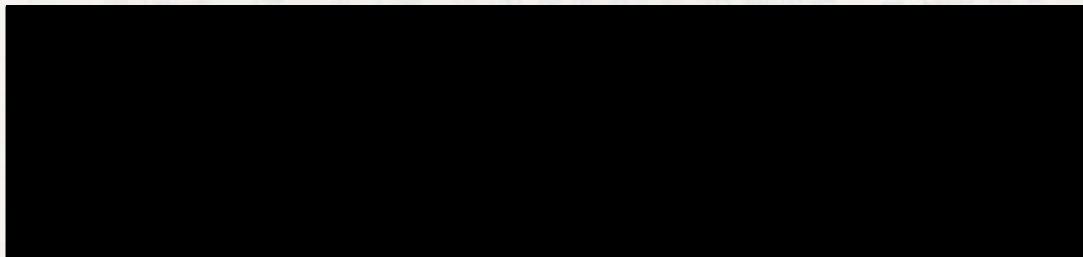
女流義太夫 平成7年度予定表

年 月 日	曜	開演時間
7年1月19日※	木	6時30分
2月22日	水	6時30分
3月22日	水	6時30分
4月23日※	日	※ 1時寺
5月23日※	火	6時30分
6月22日	木	6時30分
7月23日※	日	6時30分
8月22日	火	6時30分
9月20日※	水	6時30分
10月20日※	金	6時30分
11月22日	水	6時30分
12月22日	木	6時30分
8年1月18日※	木	※ 6時寺
2月22日	木	6時30分
3月22日	木	6時30分

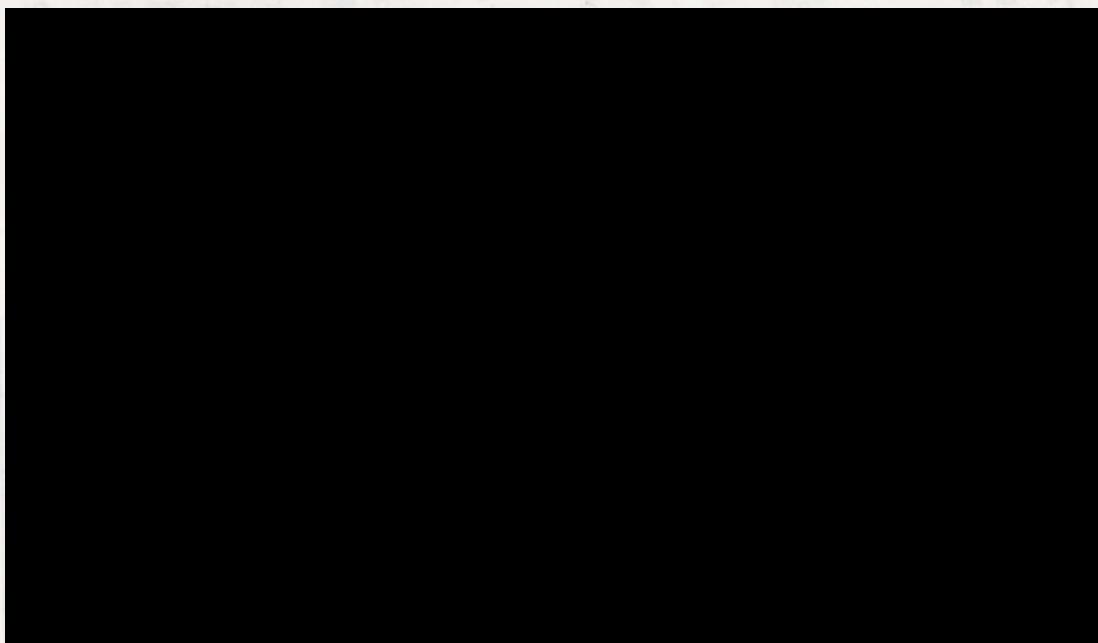
※印御注意下さい。

義太夫教室 第48期 初級入門コース			
7年5月29日	月	7年5月26日	金
6月5日	月	6月2日	金
6月12日	月	6月9日	金
6月19日	月	6月16日	金
6月26日	月	6月23日	金
7月3日	月	6月30日	金
7月10日	月	7月7日	金
7月17日	月	7月14日	金

■■■■■新入会員御紹介(五十音順・敬称略)■■■■■内は義太夫教室卒業期



■■■■■住所(住居表示)等変更■■■■■



高野 俊雄様	へ寄 贈	仮名手本忠臣蔵プログラム	4000部
鶴澤宏太郎様	同当日用プログラム	200部	アガリ糸
高橋 正毅様	鶴澤寛八会公演プログラム		
故鶴澤寛八師の追善公演が、平成六年十月十四日・大阪の朝日生命ホールで盛大に催されました。			
高橋正毅後援会長の挨拶に続き、手向けの演奏。余りにも早く逝かれた師を惜しむ声が最後まで…			
どうも有難うございました。			

編集後記

明けましておめでとうございます。日が長くなつたとはいゝ、まだまだ日の落ちるのは早い。六時過ぎ、晴海通りで三味線を片手に急いで行き過ぎる教室の生徒さんとすれ違つた。卒業公演もすぐにやつて来る。そういえば、ゴルフブルームのころ二三本のクラブをビニールケースに入れ持ち歩く人を見て、あるお師匠さんが、「最近は三味線が流行つてゐるからしらねえ」と首をかしげていたことがあつたが。そんな時代がくればと祈る。「三味線を小脇に抱えて菅笠で…」ちょっとスチュエーションが違うかな。

会報も回を重ねて60号。昭和も60と數年。皆様からのご意見、ご要望、身近な情報等をお待ちしています。